

特集

CO・OP共済は、保障のコープ商品

ご近所のお見舞い金のような、助け合い。その気持ちが広がってほしい。



第3支所、上野忠リーダー

「折り鶴を折って下さい」と、配達先の組合員さんへお願い

現在、第3支所でリーダーを務める、上野忠さん。毎日の配達を担当していた昨年、折り鶴を折ってほしいと配達先の組合員さんに声をかけたところ、予想以上の数が集まりました。

折り鶴は、けがや病気などに遭った組合員さんに給付金の申請書類を送る時、同封するもの。お見舞いの気持ちが込められています。支所には説明付きの専用の折り紙がストックされています。「CO・OP共済は、ご近所のお見舞い金みたいな、助け合いという意味がそもそもあり

毎週顔を合わせる配達担当者が窓口。組合員さんの声で見直し・改善されていく。CO・OP共済は食品同様、組合員さん本位のコープ商品です。



「CO・OP共済は、食べ物と同じように組合員さんが参加して作っているイメージしてください。組合員さんの声や要望を基に、内容が改善されているんです。説明の時は数字ばかりになっちゃうけど、組合員さんが使



上野さんと同じく第3支所職員でリーダーをつとめる江頭さん。CO・OP共済推進担当として折り鶴を支所全体に呼びかけ、上野さんの活動のきっかけを作りました。

● 給付を受けた組合員さんの声 ●

配達の担当者が、給付の請求を促してくれました

私は保険のことなどすっかり忘れていたのですが、個配のときにうちの息子の包帯姿を見た担当者の方が、「どうされました？ 共済、入ってらっしゃいましたよ」と声をかけてくださり、請求ができました。また、請求してからすぐに共済金があり、驚くと同時にうれしい気持ちでいっぱいです。けがも幸いすぐに治りましたので良かったです。ありがとうございます。矢富祥恵さん（アンケートに寄せられたお便りから）

CO・OP共済のおすすめ商品

手頃な掛金で医療保障が充実。



生命保障・入院特約・がん特約を組み合わせて選べる



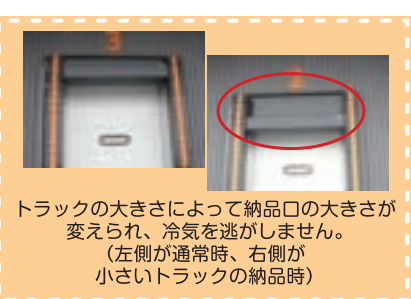
商品の品質管理を更に強化！

新しい物流センターがスタート！

よどがわ生協の商品仕分けなどを委託している、(株)おおさか協同物流センターが大きく、新しくなりました。改善される点を中心に、中尾和幸部長にお聞きしました。

冷蔵・冷凍商品の温度管理がより厳密に！

①商品を物流センターから出し入れする時の品温管理が向上します。②冷蔵・冷凍商品の作業室内の温度が、今まで以上に低くなります。



トラックの大きさによって納品口の大きさが変えられ、冷気を逃がしません。(左側が通常時、右側が小さいトラックの納品時)

すべての班で、商品が個人別仕分に！

2003年から、5人以上ご利用の班では冷凍・冷蔵商品を個人別の袋に入れてお届けする「個人別仕分け」が始まり、ご好評をいただいています。一方で、「班の人数は4人だけ、利用高は多いので個人別にしてほしい」などの要望が寄せられていました。

それらの声にこたえて、全ての共同購入班で冷蔵・冷凍商品、さらに常温商品(青い箱に入っている商品)についても個人別仕分けがスタートしました。

取り扱い商品数が増えます！

物流センターの規模拡大により、商品の品目を大幅に増やすこと



常温商品もこのように個人別に仕分けされます

「配送支所と連携し、さらに改善していきたい」と意気込みを語る おおさか協同物流センター 中尾和幸部長



箱別に仕分けして詰める作業スペース(とにかく広い!!)



枚方市に新設された物流センター